

脳の腫瘍

担当診療科：脳神経外科

代表的な対象疾患：神経膠腫（グリオーマ）、転移性脳腫瘍、中枢神経系原発悪性リンパ腫、髄芽腫、胚細胞腫瘍

◇2019年の診療実績（2019年1月1日～12月31日）

疾患名	新規患者数
神経膠腫	16
転移性脳腫瘍	18
中枢神経系原発悪性リンパ腫	7
非定型奇形腫様／ラブドイド腫瘍	2
髄芽腫	1
胚細胞腫瘍	1

◇専門医、認定医、認定看護師等

日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医	11名
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	3名
日本小児神経外科学会 認定医	2名
日本緩和医療学会 認定医	1名

◇臨床試験の実施状況（試験数）（2020年12月31日現在）

悪性神経膠腫（試験数：1）

◇当院における脳腫瘍診療の注目ポイント

- ・悪性脳腫瘍に対する豊富な知識と経験を有する専門医が診断、手術から放射線治療、化学療法まで総合的に診療します。
- ・グリオーマの手術では、ナビゲーションシステムや神経モニタリングなどの高度医療機器を常備し、さらに光線力学的診断、留置型抗がん剤や覚醒下手術といった最新の治療手技を採り入れることで、腫瘍を最大限摘出するとともに、神経機能温存にも努めています。術後、腫瘍の病理診断に遺伝子解析を加えることで、個々の症例に応じた最善の治療方針を選択します。
- ・転移性脳腫瘍では、脳内の複数病変に対してもガンマナイフで低侵襲に治療・コントロールすることが可能です。近隣の関連施設と連携し、ガンマナイフの専門医が診断・治療を担当しますので、患者さんには安心して治療を受けていただくことができます。
- ・小児悪性脳腫瘍に対しては、当科の専門的知識を持つ小児神経外科認定医が中心となり、当施設の小児科や放射線科とも緊密に連携しながら難治性疾患の治療に日夜取り組んでいます。